



あたらしい本のご案内



子ども・YA



<p>さいた さいた ゆきのはな E ス*</p> <p>はじめてゆきをみた、いもうとりす。おにいちゃんりすの かたについたゆきのおはなをみて、「おそらには ゆきのおはなばたけがあるのかなあ」といって…。 <small>(鈴木真美作 講談社)</small></p>	<p>やまねこのこんにちは K913ハ</p> <p>もりのおくにひっこしてきたやまねこ。ごきんじょのどうぶつにあいさつにでかけると、みんなが、じぶんのうわさばなしをしていて…。 <small>(はせがわさとみ作 あかね書房)</small></p>
<p>もののなまえ事典 K031 ス</p> <p>金魚すくい^{きんぎょ}で使うアレ。とうもろこし^{とうもろこし}の毛み^けたいなアレ。お刺身^{さしみ}の下^{した}のアレ。リコーダー^{りこーだー}の穴^{あな}の名前^{なまえ}。ふだん^{ふだん}使^{つか}っているアレやコレ^{これ}の名前^{なまえ}をクイズ形式^{くゐずけいしき}で紹介^{しょうかい}します。 <small>(ポプラ社)</small></p>	<p>あした、また学校^{がっこう}で K913ク</p> <p>小学校^{しょうがっこう}6年生^{ねんせい}の一将^{かずまさ}が感じた^{かん}もやもや^{あな}をきっかけに、一将^{かずまさ}たちクラスメイト^{がっこう}は「学校^{がっこう}は、だれのものなのか？」という疑問^{ぎもん}に突き当たり^つました。その結果^{けっか}とは…？ <small>(工藤純子作 講談社)</small></p>
<p>絵本^{えほん} 江戸^{えど}のたび K210 オ</p> <p>江戸時代^{えどじだい}の旅^{たび}に出かけよう！ 日本橋^{にほんばし}、箱根^{はこね}の関所^{せきしょ}…。江戸^{えど}のまちから伊勢神宮^{いせじんぐう}まで、昔^{むかし}の旅^{たび}の様子^{ようす}を絵^えでたどり、さがしもの絵本^{えほん}としても楽しめ^{たの}めます。 <small>(太田大輔著 講談社)</small></p>	<p>アドリブ YA913 サ</p> <p>フルーツ^{ふると}との衝撃^{しょうげき}的な出^で会^あいから5年^{ねん}。天性^{てんせい}の才能^{さいのう}を認め^{みと}られ、難関^{なんかん}の国立音楽^{こくりつおんがく}院^{いん}に入^{にゅう}学^{がく}したユージン^{ゆうじん}は、クラシック^{おんがく}音楽^{かい}界^きの厳^{きび}しさを目^まの当^{あた}りにし悩^{なや}む…。 <small>(佐藤まどか作 あすなる書房)</small></p>

一般



<p>小説^{しょうせつ} 世界^{せかい}が僕^{ぼく}らを嫌^{きら}っても F 幼</p> <p>父^{ちち}による母殺^{ぼりころ}しの十字架^{じゅうじや}を背負^{せお}うサヤ、性同^{せいどう}一^{いつ}性障^{せいじやう}害^{がい}のタシケ、父親^{ちち}の非業^{ひがふ}の死^しで言葉^{ことば}を失^うったクチナシ。三人^{さんにん}の偶然^{ぐうぜん}の出会^{であい}いから運命^{うんめい}の歯車^{はぐるま}が動き出^うす。夕暮^{ゆふぐり}れの駅^{えき}のホーム^{ほーむ}で彼ら^{かれら}がみつけた答^{こた}えとは…。 <small>(片山恭一著 河出書房新社)</small></p>	<p>小説^{しょうせつ} 大天使^{たいてんし}はミモザ^{みもざ}の香り F 幼</p> <p>二重^{にじゅう}に警備^{けいび}されたパーティー会^{かい}場^{じやう}で、ヴァイオリン^{ばいりん}の名器^{なめい}「ミモザ」が消失^{しょうし}！ 誰^{たれ}にも不可^ふ可能^{かう}で、誰^{たれ}もが怪^{あや}しい…。アラフォー^{あらふー}の地味美人^{ぢみびじん}×天才^{てんさい}(?) 高校生^{こうせい}コンビ^{こんび}は、このトリック^{とりっく}を解^とけるのか？ <small>(高野史緒著 講談社)</small></p>
<p>小説^{しょうせつ} わが殿^{わがとん} (上・下) F ハタ</p> <p>混沌^{こんとん}とした幕末^{まくまつ}の時代^{じだい}。藩主^{はんしゆ}・土井利忠^{とゐりしゆん}を「わが殿^{わがとん}」と呼^よび、殿^{とん}の人柄^{にんがら}と才能^{さいのう}に惚^ほれきつた七郎右衛門^{しちらうゑもん}は、財政難^{ざいせいなん}の藩^{はん}に課^かせられた無理難題^{むりなんだい}を一^{いつ}手に引き受^ひけ、孤軍奮闘^{こぐんふんとう}する。 <small>(畠中恵著 文藝春秋)</small></p>	<p>小説^{しょうせつ} 密室^{みつしつ}をあける手 F フジ</p> <p>消^けえた写^{しゃ}真^{しん}と切^きり取^とられた日^ひ記^き、そして残^{のこ}された謎^{めい}の血痕^{ちゆうこん}。亡^なくなつた祖父^{そふ}にまつわる大切^{たいせつ}なものには何^{なに}が隠^{かく}されていたのか？ 第二次世界大戦^{だいにせかいだいせん}が産^うんだ悲^{かな}しき闇^{やみ}に、高校生^{こうせい}の和典^{わでん}が挑^もむ。 <small>(藤本ひとみ著 講談社)</small></p>

書名	著者名	ジャンル	ラベル
認知症になってもひとりで暮らせる	協同福祉会	福祉	369.2ニ
にっぽん建築散歩	小林泰彦	建築	523.1コ
志麻さんの 気軽に作れる極上おやつ	志麻	料理	596.6シ
日本語をつかまえろ！	毎日新聞出版	言語	810.4イ

◆◆◆貸出し中の場合は予約ができます◆◆◆